

# 朝来市の環境に関する事業者アンケート調査結果

## 調査概要

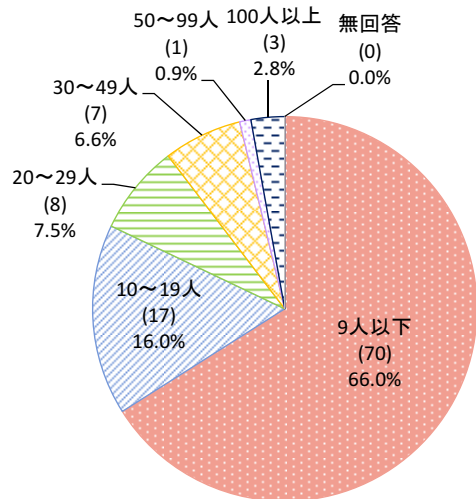
<b>調査対象</b>	市内で事業活動を行っている 200 事業者（無作為抽出）
<b>調査方法</b>	郵送調査または Web 調査
<b>調査期間</b>	2024 年 6 月 14 日～7 月 8 日
<b>回収結果</b>	有効回収数：106 件（郵送調査：77 件、Web 調査：29 件） 有効回収率：53.0%

## 問 1

貴事業所のことについてお聞きます。（あてはまるものにそれぞれ 1 つだけ○）

### (1) 従業員数

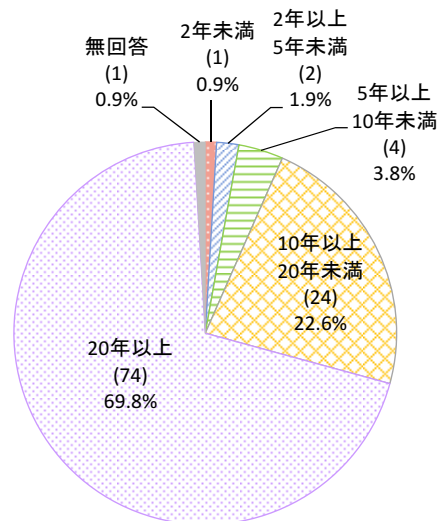
回答事業所の従業員数は、「9 人以下」が 66.0% で最も高く、次いで「10～19 人」の 16.0%、「20～29 人」の 7.5%などとなっています。



n = 106

### (2) 事業年数

回答事業所の事業年数は、「20 年以上」が 69.8% で最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」の 22.6%、「5 年以上 10 年未満」の 3.8%などとなっています。



n = 106

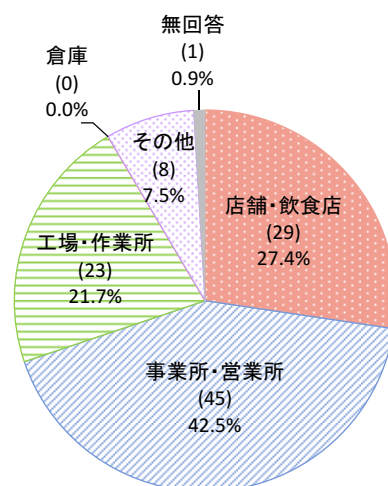
### (3) 業種

回答事業所の業種は、「サービス業」が21.7%で最も高く、次いで「卸売・小売業」の20.8%、「建設業」の17.9%などとなっています。

業種	回答数	回答割合
農林業	2	1.9%
鉱業	0	0.0%
建設業	19	17.9%
製造業	17	16.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
情報通信業	0	0.0%
運輸業、郵便業	3	2.8%
卸売・小売業	22	20.8%
金融・保険業	2	1.9%
不動産業	0	0.0%
飲食店、宿泊業	11	10.4%
サービス業	23	21.7%
教育、学習支援業	2	1.9%
医療、福祉	3	2.8%
その他	2	1.9%
無回答	0	0.0%
合計	106	100%

### (4) 事業所形態

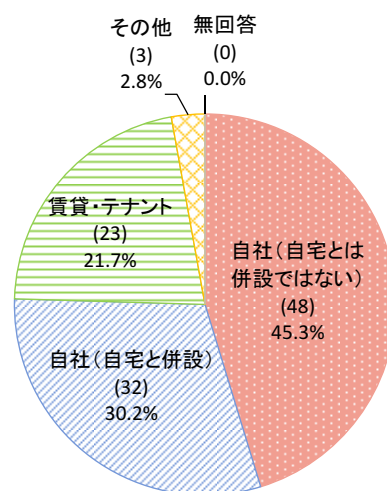
回答事業所の事業所形態は、「事業所・営業所」が42.5%で最も高く、次いで「店舗・飲食店」の27.4%、「工場・作業所」の21.7%などとなっています。



n = 106

### (5) 所有形態

回答事業所の所有形態は、「自社（自宅とは併設ではない）」が45.3%で最も高く、次いで「自社（自宅と併設）」の30.2%、「賃貸・テナント」の21.7%などとなっています。



n = 106

### (6) 所在地区

回答事業所の所在地区は、「和田山地区」が33.0%で最も高く、次いで「生野地区」の12.3%、「梁瀬地区」及び「山口地区」の9.4%などとなっています。

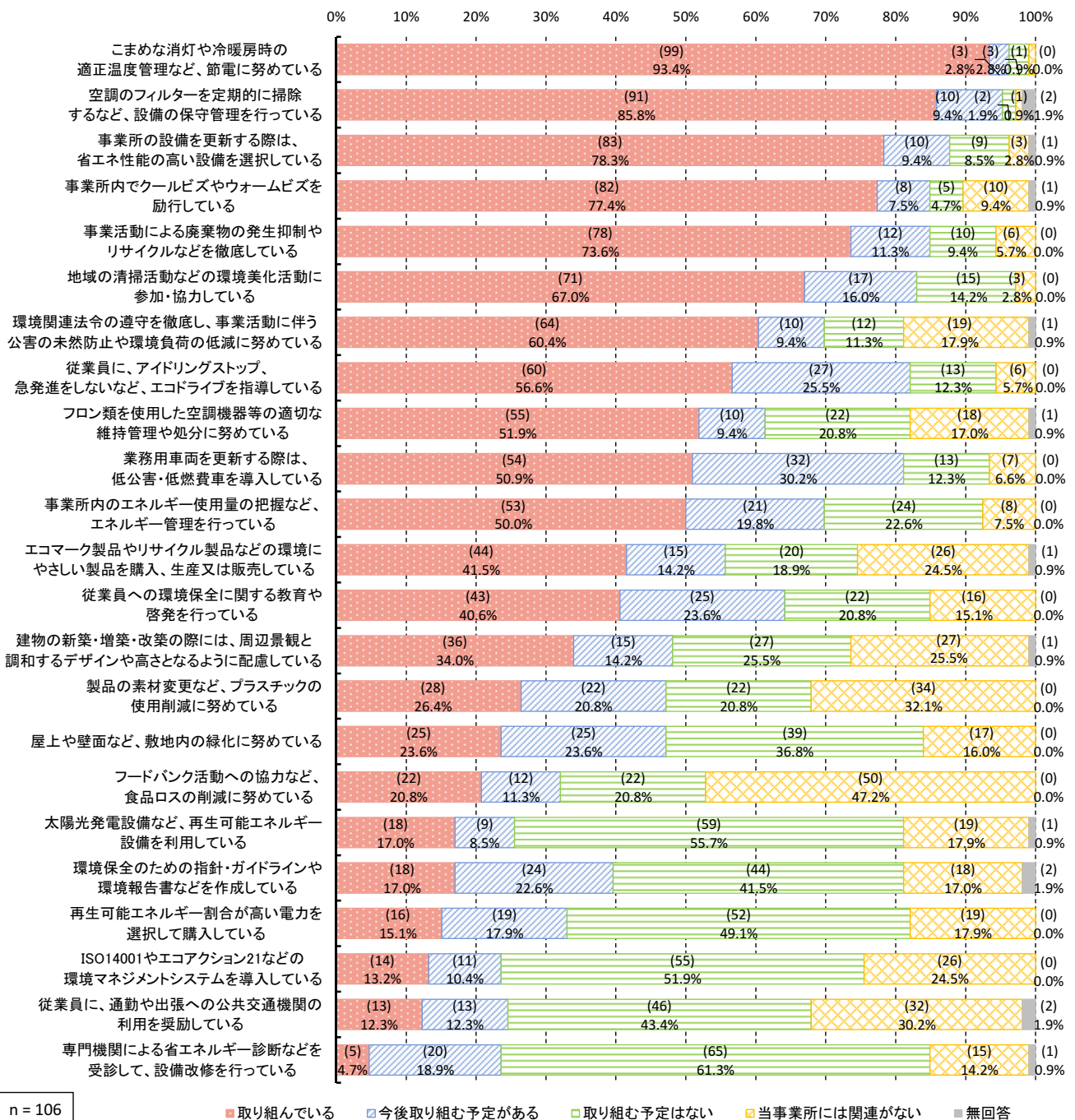
所在地区	回答数	回答割合
生野地区	13	12.3%
奥銀谷地区	2	1.9%
糸井地区	4	3.8%
大蔵地区	9	8.5%
和田山地区	35	33.0%
東河地区	2	1.9%
竹田地区	3	2.8%
梁瀬地区	10	9.4%
粟鹿地区	3	2.8%
与布土地区	6	5.7%
中川地区	8	7.5%
山口地区	10	9.4%
無回答	1	0.9%
合計	106	100%

問 2

貴事業所では、事業活動で環境保全にどの程度取り組んでいますか。（あてはまるものにそれぞれ1つだけ○）

「取り組んでいる」と回答した事業所の割合は、「こまめな消灯や冷暖房時の適正温度管理など、節電に努めている」が93.4%で最も高く、次いで「空調のフィルターを定期的に掃除するなど、設備の保守管理を行っている」の85.8%、「事業所の設備を更新する際は、省エネ性能の高い設備を選択している」の78.3%などとなっています。

一方で、「取り組む予定はない」と回答した事業所の割合は、「専門機関による省エネルギー診断などを受診して、設備改修を行っている」が61.3%で最も高く、次いで「太陽光発電設備など、再生可能エネルギー設備を利用している」の55.7%、次いで「ISO14001 やエコアクション21 などの環境マネジメントシステムを導入している」の51.9%などとなっています。

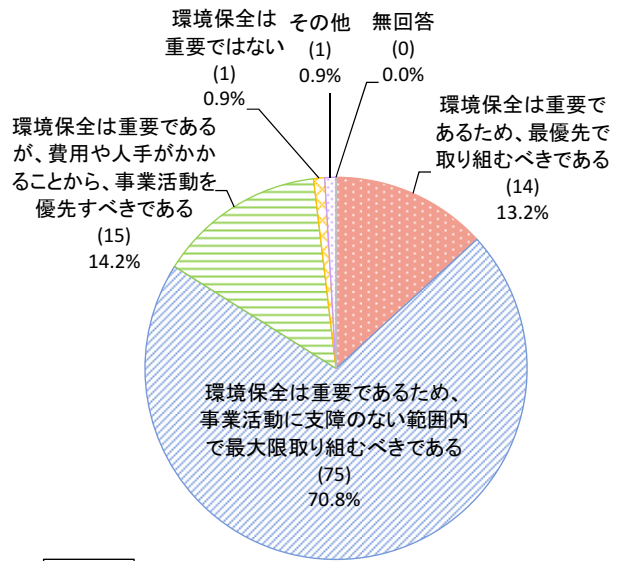


n = 106

問 3

貴事業所では、環境保全に取り組むことについて、どのようにお考えですか。（あてはまるものに1つだけ○）

「環境保全は重要であるため、最優先で取り組むべきである」と回答した事業所の割合は 13.2%と低い一方で、「環境保全は重要であるため、事業活動に支障のない範囲内で最大限取り組むべきである」が 70.8%で最も高くなっています。その他の回答では、「環境保全は重要であるが、費用や人手がかかることから、事業活動を優先すべきである」が 14.2%と高くなっています。

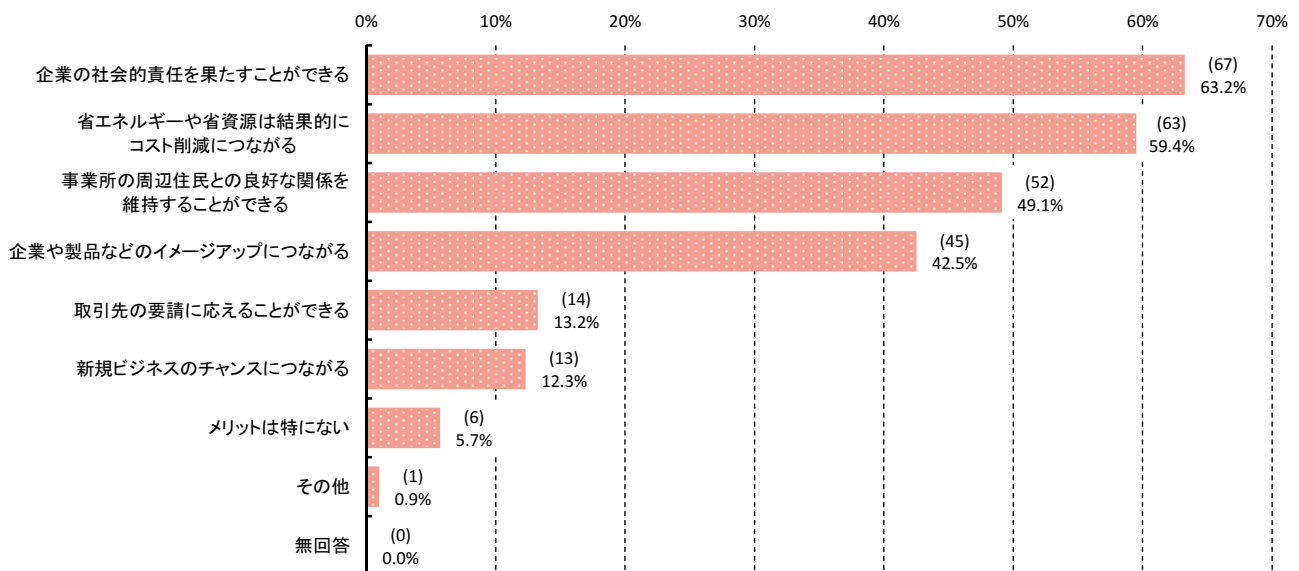


n = 106

問 4

貴事業所では、環境保全に取り組むことによるメリットについて、どのようにお考えですか。（あてはまるものにすべて○）

回答事業所の割合は、「企業の社会的責任を果たすことができる」が 63.2%で最も高く、次いで「省エネルギーや省資源は結果的にコスト削減につながる」の 59.4%、「事業所の周辺住民との良好な関係を維持することができる」の 49.1%などとなっています。

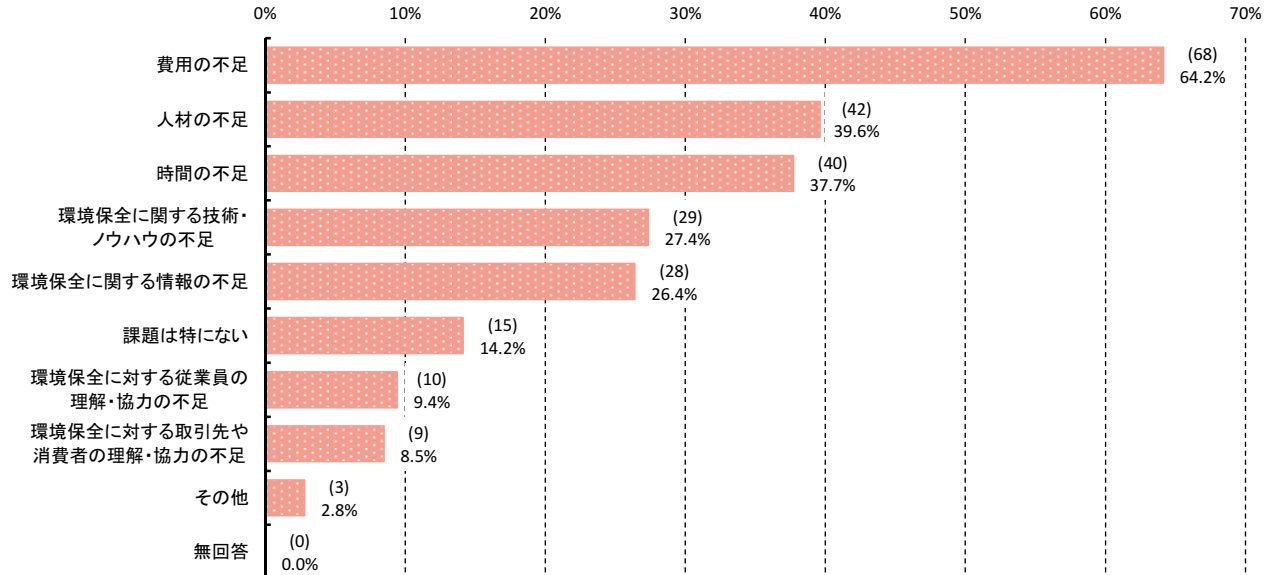


n = 106

### 問 5

貴事業所が、環境保全に取り組む上で、どのようなことが課題になっていますか。（あてはまるものにすべて○）

回答事業所の割合は、「費用の不足」が64.2%で最も高く、次いで「人材の不足」の39.6%、「時間の不足」の37.7%などとなっています。

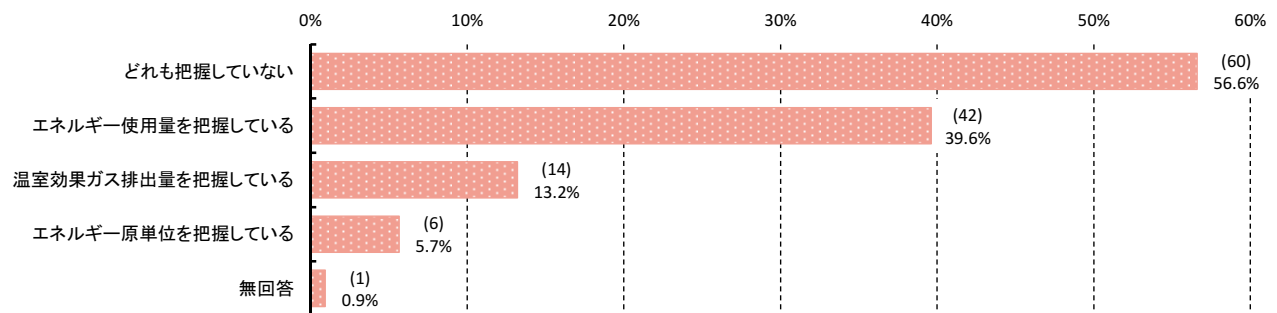


n = 106

### 問 6

貴事業所では、事業活動に伴う温室効果ガス排出量、エネルギー使用量及びエネルギー原単位を把握していますか。（あてはまるものにすべて○）

回答事業所の割合は、「どれも把握していない」が56.6%で最も高く、次いで「エネルギー使用量を把握している」の39.6%、「温室効果ガス排出量を把握している」の13.2%などとなっています。



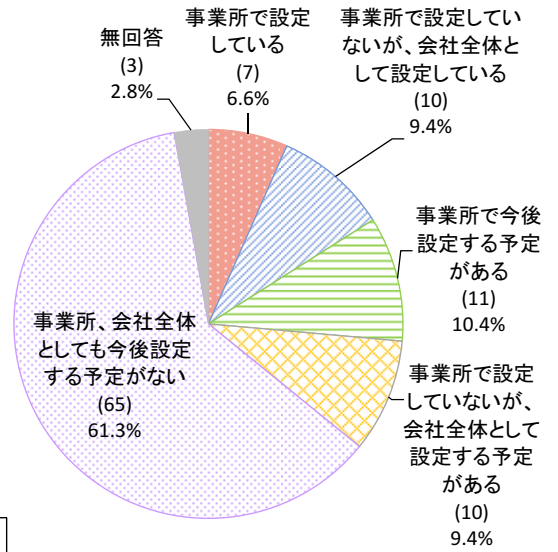
n = 106



問 7

貴事業所では、事業活動に伴う温室効果ガス排出量などの削減目標を設定していますか。（あてはまるものに1つだけ○）

「事業所で設定している」及び「事業所で設定していないが、会社全体として設定している」と回答した事業所の割合は 16.0%となっています。その他の回答では、「事業所、会社全体としても今後設定する予定がない」が 61.3%で最も高く、次いで「事業所で今後設定する予定がある」の 10.4%などとなっています。



n = 106

問 8

問 7 で「1.事業所で設定している」または「2.事業所で設定していないが、会社全体として設定している」と回答された事業所にお聞きします。事業活動に伴う温室効果ガス排出量などの削減目標の具体的な設定内容についてご記入ください。

No	内容
1	毎年 1% ずつの定量削減目標を設定。
2	エコアクション 21 の取組として、経済運転、節水、節電、リサイクル率の向上。
3	エコアクションにより設定値を決め目標達成を目指す。
4	ペーパーレスの実施。顧客への請求書郵送を可能な限りメールで送信することにより CO <sub>2</sub> コスト削減。
5	エコアクション 21 の活動の中で対前年 1% 削減を目標設定。
6	2024 年度 CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /億円) 半減⇒BM2021 年度
7	「エコアクション」を通して、年ごとに審査を受けている。
8	2024 年 12 月期。CO <sub>2</sub> 排出量目標「660t-CO <sub>2</sub> /年」。原単位目標「0.0423t-CO <sub>2</sub> /生産数量 (t)」
9	ボイラー、営業車、フォークリフト、ショベル、エネルギー使用時の温室効果ガス排出量を抑制させる。2016 年度対 15% 削減 (2023.8~2024.7 目標)
10	「環境・社会・経済活動レポート」を参照願います。
11	エコアクション 21 において二酸化炭素の排出量についての目標を項目ごとに定め、達成状況の把握に努めている。
12	兵庫県「環境の保全と創造に関する条例」に基づき抑制目標量を定めている。

問 9

貴事業所が、すでに実施している又は実施予定がある環境保全に関する取組で、朝来市や他事業者と協力・連携して実施したいものや、先駆的な取組事例として地域に PR したいものはありますか。ある場合には、貴事業所名や具体的な取組内容などをご記入ください。

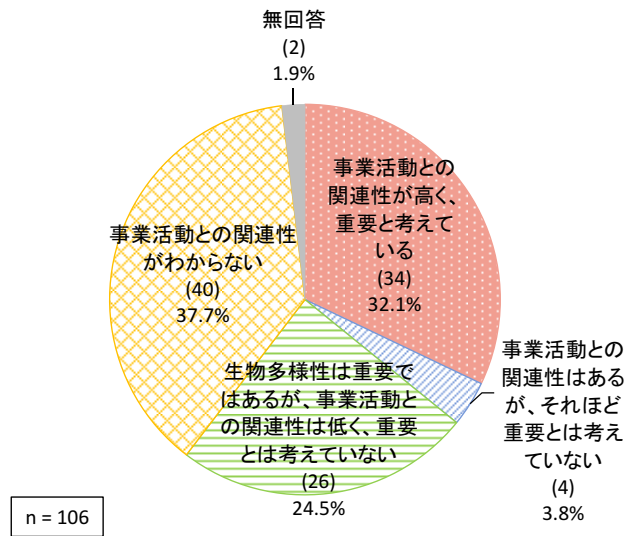
事業所名	取組内容
(株)グリーンウインド	フードロス対策として、産直会員の劣化野菜の買い取りを行い、調理場にて料理している。
(株)嵯峨山通商	①当社は、太陽光発電を利用して非常時に電気が使える（蓄電池でためる）「非常電源供給システム」を設置しております。（約 10kW、コンセント 8 個）万一の時にこのシステムを利用していただけます。 ②災害時の電気の供給・車庫の提供（一時的な物資保管他）トラックの物資輸送も提携可能です。トラックに関して弊社トラックは全て冷凍庫（大型）ですので特に夏場は幅広く利用していただけるかと思えます。（食品の保管・氷・アイスクリーム保存可。冷凍庫は非常時の作業の方々の休憩場としても使用できる）。
プレミアムウォーター朝来(株)	<廃棄物削減のための取組として>自工場で生産、出荷されたお水が様々な理由で一定数戻ってきます。それを有効活用できないかを考える。既にその一部を使って地域活動に活かしてはいるが、（ダム湖マラソン、グリーンライドへのお水の提供）自治体への積極的な提供を模索していきたい。（サーバー設置、有事の際の備蓄用等）
東京精溜工業(株)生野工場	不法投棄防止運動 （目的）生物多様性を含めた地球環境保護を行い、周辺地域及び行政の皆様とのコミュニケーション、地域社会との共生を深めるため地域貢献事業を担う。 （概要）多くの山林、生物植物、河川など、豊かな自然に恵まれた朝来市。この自然を破壊し、美観を著しく損なう不法投棄をなくす。また、不法投棄をされない環境をつくるため「不法投棄防止看板設置」など防止対策を実施する。
(株)環境テクノス	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、労働安全衛生法などの環境法令への対応を早期に実現させるなどしながら、実際の環境問題の解決にいち早くつながられるように考えている。ISO14001 の取得を 2001 年に行った以降、継続的なスパイラルアップを実現している。
(無回答)	特殊バッテリー…滋賀県処理所へ送付。タイヤ等…大阪処理施設へ送付



**問 10**

貴事業所は、朝来市の生物多様性の保全への取組と事業活動の関連性について、どうお考えですか。（あてはまるものに1つだけ○）

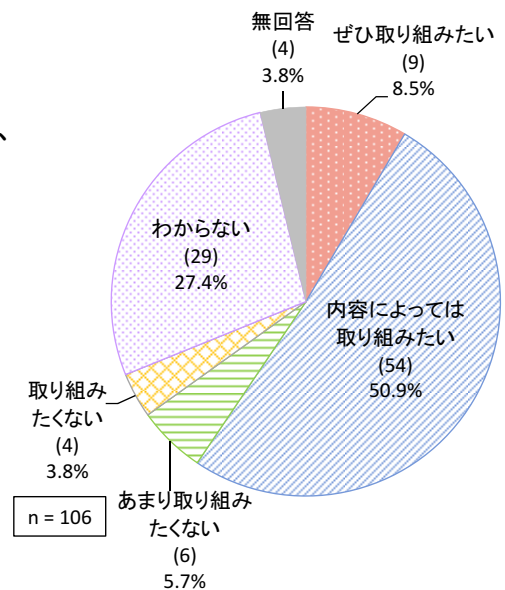
「事業活動との関連性が高く、重要と考えている」と回答した事業所の割合は32.1%となっています。その他の回答では、「事業活動との関連性がわからない」が37.7%で最も高く、次いで「生物多様性は重要ではあるが、事業活動との関連性は低く、重要とは考えていない」の24.5%などとなっています。



**問 11**

貴事業所は、朝来市の生物多様性の保全や持続可能な利用につながる活動に取り組みたいと思いますか。（あてはまるものに1つだけ○）

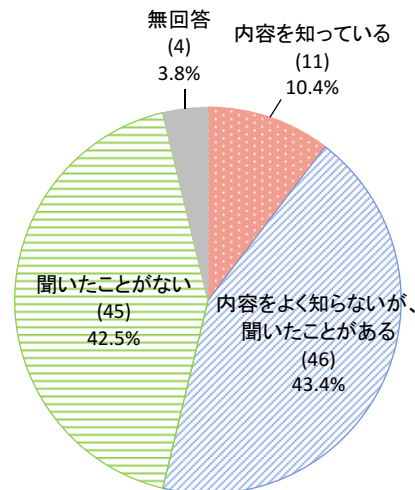
「ぜひ取り組みたい」と回答した事業所の割合は8.5%と低い一方で、「内容によっては取り組みたい」が50.9%で最も高くなっています。その他の回答では、「わからない」が27.4%と高くなっています。



### 問 12

朝来市では、「第3次朝来市環境基本計画」を策定し、環境保全に関する施策の推進を図っています。  
 貴事業所は、「第3次朝来市環境基本計画」を知っていますか。（あてはまるものに1つだけ○）

「内容を知っている」と回答した事業所の割合は10.4%となっています。その他の回答では、「内容をよく知らないが、聞いたことがある」が43.4%で最も高く、次いで「聞いたことがない」の42.5%となっています。

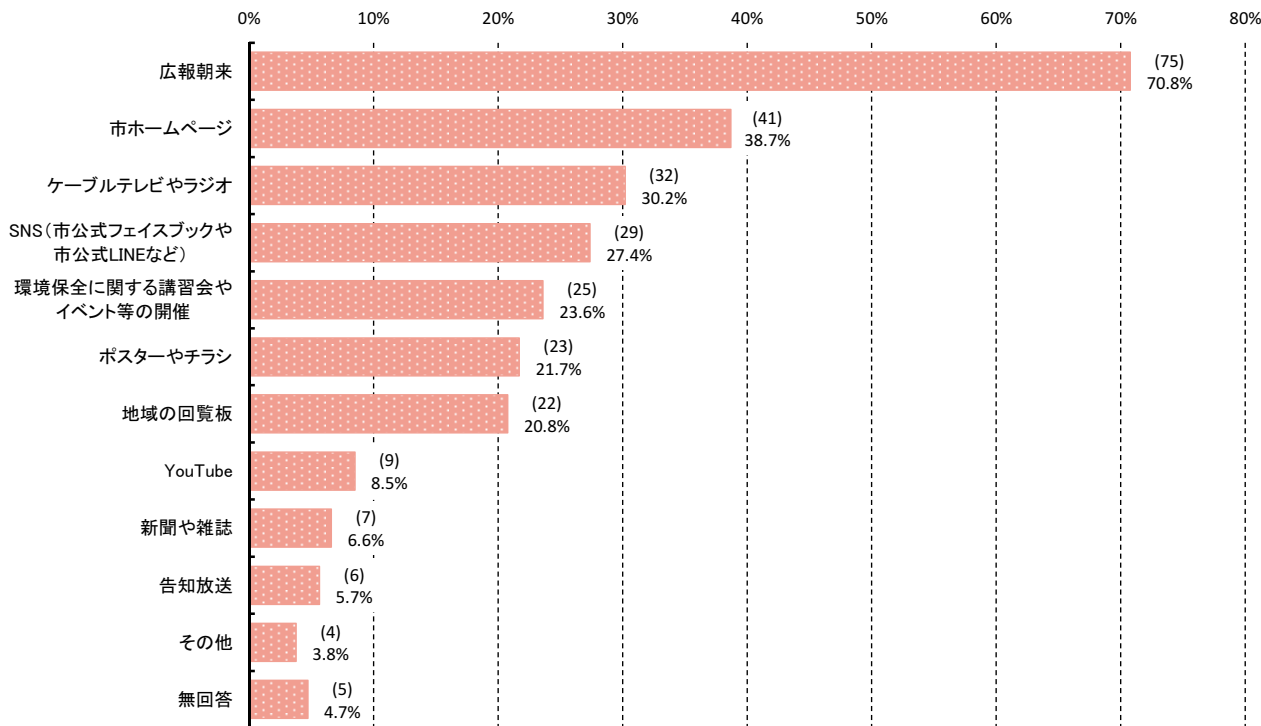


n = 106

### 問 13

貴事業所は、朝来市が行う環境保全に関する情報発信方法として、どれが有効だと思いますか。（あてはまるものに最大3つまで○）

回答事業所の割合は、「広報朝来」が70.8%で最も高く、次いで「市ホームページ」の38.7%、「ケーブルテレビやラジオ」の30.2%などとなっています。

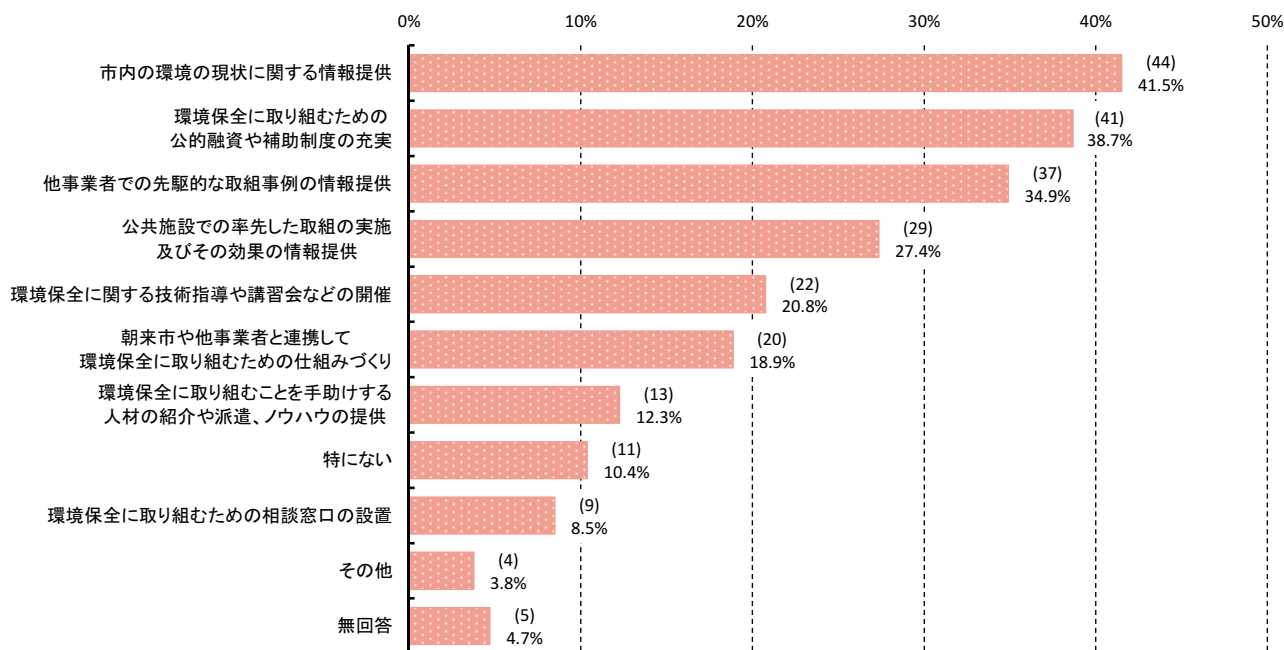


n = 106

問 14

貴事業所が、環境保全に取り組んでいくために、朝来市に今後期待する支援等がありますか。  
 (あてはまるものに最大 3 つまで○)

回答事業所の割合は、「市内の環境の現状に関する情報提供」が 41.5%で最も高く、次いで「環境保全に取り組むための公的融資や補助制度の充実」の 38.7%、「他事業者での先駆的な取組事例の情報提供」の 34.9%などとなっています。



n = 106

問 15

朝来市の環境保全に関する施策や地域の環境問題などについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

No	意見・要望
1	数値目標を定めて課題の解決に向けて取り組むことは理解できるが、若い世代（～20才）にはふるさと朝来について、郷土愛を醸成する、ふるさとに興味、関心を持ち続ける心を育む教育を充実させてほしい。
2	質問の内容から何かの営業目的のアンケートかなと思い無駄な時間を取りました。今後、このアンケートにより税金を使い、不要の物・建物など、予算を使われるのではと不安に思います。
3	市保有の施設の劣化状況の把握をされたい。
4	与布土地域で製麺業をしております。得意先から依頼された期間限定商品の余剰分や、試作品や商品サンプルが余った際に、廃棄するのではなく非営利で運営していることも食堂のような施設の食材として使ってもらえる先があればと考えております。その時々によって提供できる量が異なりますが、使っていただけたところがありましたら紹介してもらいたいです。
5	近年、植物、動物、昆虫他、外来種の有害生物（これまであまり見かけなかったもの）をよく見かけるようになりました。強い生命力と旺盛な繁殖力で在来種に代わって蔓延しています。例えばクズ、神樹やカメムシ（でかいやつ）。大きくならないうちに、大量発生しないうちに駆除が必要かと思えます。（個人で努力しているのですが限界があります。）
6	第3次朝来市環境基本計画を拝見させていただきました。再生可能エネルギーの普及に向けて木質バイオマス発電や太陽光発電を導入し、二酸化炭素濃度に影響を与えないカーボンニュートラルへの取組は特に素晴らしいと思っております。今後、こちらの活動に今以上に力を入れていくべきだと思います。活動につながる助成金についてもご検討いただければと、当事業所もご協力できることもあると考えております。
7	環境問題に対する活動は、「環境保全」より「環境保護」のため実施。「保全」より「保護」の方が合っていると思えます。
8	環境保全問題で山口雅之さんのYouTubeなどを見てほしいです。環境保全の第一人者で、河野太郎大臣とも問題について議論されています。ただ、大臣は利権が絡んでいるので、答弁は一般的ですが、太陽光、風力発電は問題を起こしていることに朝来市は気づいてくださいね。
9	円山川、市川の源流域である市の立地を活かし、豊かな自然環境、生物多様性を次世代に引き継ぐ施策を展開していただければと思います。
10	生物多様性やごみの問題を考えた時に実際に多く住民ができる形づくりをするには、「簡単な運用と実現の可視化」に尽きると感じている。税制などのように負担を強いるものでなく、「やりがいを感じる」施策を実現してほしい。
11	環境保全に関わらず、世界情勢、日本の世界での立ち位置による地方自治の立ち位置を考えてほしい。総務省推薦のコンサルや会社に税金搾取されすぎですよ。朝来人のための政策をお願いします。国からの推奨って本当に朝来市のためですか？どこの自治体も同じ政策していたら体力勝負ですよ。